

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2019.7

Vol. 81

〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-2

TEL. 03-3387-5421(代)

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信 Vol.81

●編集・発行／総合東京病院

特集

寝たきりの原因となる代表的な疾患
大腿骨頸部骨折と腰椎圧迫骨折

総合東京病院
脳神経外科

北川 亮

■超高齢化社会に至った経緯

科学の発展において、20世紀最大の発見とは何かということには、色々な意見があると思います。医学を含めた生物学での最大の発見は、ワトソンとクリックによって発表された遺伝子構造の解明であると思われます。この発見により、生物に対する理解が変わり、何より病気の治療に対するスタンスも変わりました。以降、現在に至るまで、多くの医学の進歩があり、平均寿命が延び、現在の日本は超高齢化社会を迎えることとなりました。

超高齢化社会は、多くの方が長寿に

なり、豊かな人生を長く送れる時代になるのではなく、高齢者特有の問題が社会問題化するようになりました。高齢者となったことで身体機能が低下するのみでなく、様々な疾患により、いわゆる「寝たきり」という状態になり、ご本人にとっても不本意な状態で生活を強いられる方が増えてくるようになりました。また、寝たきりでなくても、身体能力の低下により、生活に支障をきたされる方が増え、社会への負担となっております。研究の場では、ワトソン、クリックの発見以降に発見されてきた様々な遺伝子を解明することで、老化を遅らせる研究、年齢を重ねても身体能力の低下を最小限にとどめる研究がなされています。

■ロコモティブシンドロームの啓発活動

アメリカの元大統領であった、ロナル



PET-CT装置

PET-CTがんドック予約受付中

「PET-CTがんドック」 ※総合東京病院の来院申込者

通常料金 108,000円 ➡ 優待料金 86,400円(税込)

※「脳検査」を追加の場合は、108,000円(税込)になります。

詳しくは、予防医学課へ

☎03-3387-5462

受付時間/月～土(日・祝除く)
AM 9:00 ~ PM 5:00

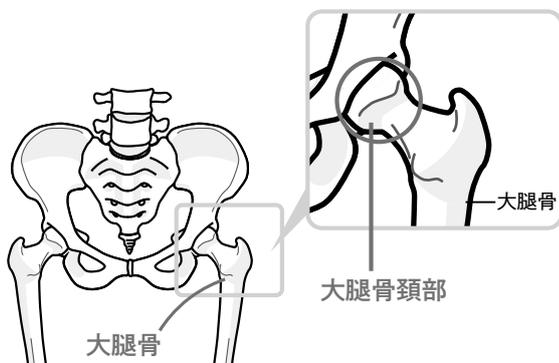
特集

寝たきりの原因となる代表的な疾患～大腿骨頸部骨折と腰椎圧迫骨折～

ド・レーガンがアルツハイマー病を公表して以降、認知症にスポットライトが当たるようになりました。一方、その陰で骨折などの疾患も増加しています。これに対し、整形外科学会が中心になり、日本医師会は「ロコモティブシンドローム」のキャンペーンを行い、健康寿命を延ばすことと患者さん本人の体力を維持することを重視する活動を活発に行なっています（YouTubeで、ガイドムービーが見られます）。体力を維持する際に、問題となるのは骨折です。老年期になれば、若年者よりも骨密度が下がる「骨粗鬆症」と呼ばれる疾患になり、骨折をしやすくなります。特に大腿骨頸部骨折と腰椎圧迫骨折は、高齢者のADLを下げ、寝たきりとしてしまう代表的な骨折です。

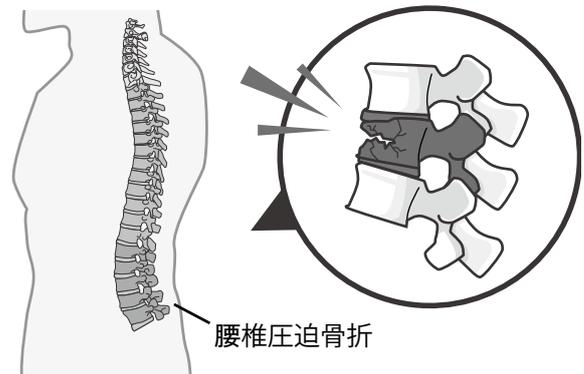
■大腿骨頸部骨折

大腿骨は股関節から出てすぐのところまで曲がっています。その曲がった部分に転んだり滑ったりしたときに力が集中しやすく骨折に至ります。



■腰椎圧迫骨折

脊椎圧迫骨折の1つで外部からの圧力によって椎体と呼ばれる部分が押しつぶされることで起こります。その症状は激しい腰の痛みを伴います。



大腿骨頸部骨折は、早期手術が寝たきりを防ぎ、多くの合併症を減らすことが周知され、多くの施設で導入されるようになりましたが腰椎圧迫骨折については、疼痛が強い時期は安静とし、疼痛が軽快してからリハビリテーションを行うことが多いです。このような治療は筋力低下により寝たきりを生み出す可能性が高いため、最近はセメントを挿入し疼痛を軽減させ、早期に離床しリハビリテーションを行う治療が広まりつつあります。当院でもその治療法を積極的に導入しています。また、圧迫骨折の治療に関しても新たな薬の登場により最新の治療法を導入しております。ぜひ脳神経外科の脊椎外来を受診して、ご相談ください。

